

読むこと 指導のポイント

(その6)

～ パラレルな文章に取り組みさせる ～

読むこと 指導のポイント（その5）で、Y中学校の実践例を紹介しました。

今回は、Y中学校の単元指導計画にある“パラレルな説明文”について見てみたいと思います。

Y中学校の実践例

- 1 単元名 NEW CROWN ENGLISH COURSE 1 Let's Read 1 Learning from Nature
- 2 単元指導計画

読むこと（ウ）物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること の育成が主なねらい

時数	ねらい	・言語活動	評価			
			コ	表	理	言
1	説明文の概要を読み取ることができる。	・初見の英文を読む活動	○		◎	
2	説明文(前半)の概要を理解することができる。 説明文(前半)の語句、重要表現を確認する。	・事実発問について応答する活動			○	◎
3	説明文(後半)の概要を理解することができる。 説明文(後半)の語句、重要表現を確認する。	・事実発問について応答する活動			○	◎
4	説明文の要約文を完成することができる。	・推測発問について応答する活動 ・要約文を完成する活動		◎	○	
5	パラレルな説明文 を読み取ることができる。	・パラレルな英文を読み取る活動			◎	

パラレルな文章とはどのような文章のことですか？



パラレルな文章

学習した教科書等の英文と、形式的にも内容的にも類似している文章

をここでは指しています。



教科書本文で、かなり長い英文を読み取らせたのですが、さらにパラレルな文章を読み取らせる意図は何ですか？



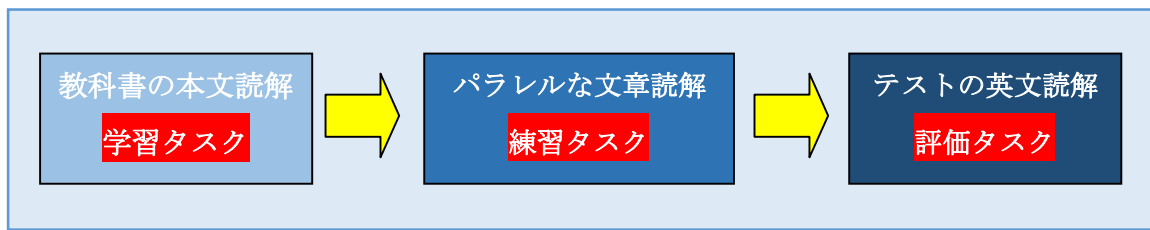
Y中学校の実践では、文章構成【Let's Read 1 においては、Opening - Body - Closing】ということも学習し、生徒に文章構成を意識した読み取りのスキルを身に付けさせることをねらいました。

習得された読みのスキルを、他の類似した場面で活用させる、という意図があります。

「読み取る力」を評価するという意識もあるのですか？



もちろん、指導には評価が伴うので、評価を意識しない指導はないのですが、Y中学校では、定期テストで同じ文章構成の英文を与え、そこで最終的な評価と考えています。つまり、「読み取る力」を育成するために、次のように計画しています。



(参考資料 研修会資料 上越教育大学 松澤伸二教授)

非常に丁寧に指導しています。

「読むこと」を重点的に行う単元などではぜひ参考にしてほしいと思います。

パラレルな文章は、作ったり見付けたりするのが大変ですね。



そうですね。

でも……。少なくとも定期テストでは、学習した教科書の長文とは別の問題に取り組みさせてください。求められる「読み取る力」は、初見の英文の内容理解です。一度学習した教科書の英文を定期テスト

に出題しても、英文を「読み取る力」を測ることはできません。

確かに、オリジナルの長文は作成が大変かもしれませんが、定着確認シートの長文問題を活用したり、ALTの協力を得たり、研究会等で資料を共有したりすることもよいかもしれません。